

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 3314
部 名	土木部	課 名	土木計画課	課長名	佐藤
事務事業名	下水道普及啓発費				
予算上の事務事業名	下水道普及啓発費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32630		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施 策 名	第3施策 下水道管理の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
下水道法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
水源域での水質汚濁防止に加え、市街化調整区域内での公共下水道整備や使用料の滞納整理、不明水の解消など、市民の一層の協力が求められる中、下水道事業に対する理解と関心を深め、下水道の普及と適正な利用を促進することを目的とする。				市民一般	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
①下水道展 リサイクルフェアの会場において、下水道に関するパネル等の展示、パンフレット等の配布、下水道クイズ等の市民参加型イベントを実施した。(来場者数約 250人)雨天のため来場者が大幅減 ②親子下水処理場見学会 市内ポンプ場及び茅ヶ崎市内の流域下水道処理場で、下水の処理過程を学ぶ見学会を開催した。(参加者27名) ③下水道作品コンクール 県下水道公社が主催するコンクールに参加した。(応募作品332点) ④広報活動 市広報、リーフレットの窓口配布などにより広報活動を行った。 ⑤ホームページ 市ホームページ内に普及啓発に係るページをアップした。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	207	91	85	150	150
一般財源	207	91	85	150	150
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,602	1,614	1,610	1,610	1,610
事業コスト合計	1,809	1,705	1,695	1,760	1,760
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	下水道展			対象名称と単位	来場者数 17年度は雨天(大幅減)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	954	820	519	519	519
対象数	1,028	857	169	1,000	1,000
単位あたり経費(円)	928	957	3,071	519	519

前年度比		1.03	3.21	0.17	1.00
9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	実施事業数	指標式と指標の説明			
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	4.0	4.0	5.0		
目標	4.0	4.0	5.0	6.0	6.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	下水道に係る知識習熟イベントへの参加者数（人/日）	指標式と指標の説明	下水道展における啓発イベントへの参加者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	1028.0	857.0	169.0		
目標	700.0	1000.0	1000.0	1000.0	1000.0
目標達成度（%）	146.9	85.7	16.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		17年度は主要イベント実施当日が雨天であったため指標は大きく下がっているが、市域が拡大する中、水源地等での環境保護は益々重要な課題となっており、下水道事業の普及啓発事業の重要性は今後一層高まることが予想される。下水道事業の有効性と有益性を更に市民へPRしていく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
関係機関の協力を得るとともに、庁内印刷を活用するなど最大限のコスト削減を行っており、これ以上の削減余地はない。成果指標については、天候に左右されやすいイベント型を補完する成人向け事業を18年度から新たに実施を検討する。			・主たる事業がイベント事業であるため、天候により成果（来場者数）が大きく変化するため、成果向上に向けた取り組みが結果に直結しづらい面がある。 ・津久井町、相模湖町内にお住まいの市民にも参加しやすい事業手法を検討する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			